

★ 提案 46 の賛成意見 ★

提案 46 は、人の命を救います。

予防可能な医療ミスによって毎年最大で 440,000 人が死亡しており、医療過失は、心臓病と癌に次いで米国内の死因の第三位となっています。

提案 46 は Bob Pack 氏が発案しました。複数の医師が無謀に麻酔薬を処方し、その薬物を使用していた運転手によって Bob の子供が殺されたのです。Bob は、このような悲劇が他の家族に起こらないことを願っています。提案 46 は次の三つの方法で人の命を救います。

1. 提案 46 は、医師に医療ミスの責任を負わせて過失を阻止します。

- Troy Pack や Alana Pack のような医療過誤被害者の苦痛に対する損害賠償額の上限を、現在の \$250,000 からインフレに合わせて調整することにより、薬物またはアルコールによって医師の正常な能力が損なわれたときなど、医師が過失を犯したときに、その医師に責任を課します。
- この上限は 1975 年に議会が設定したのですが、インフレに合わせて調整されることがありません。他のすべての費用が大幅に増大しているのに、人の命の価値はこの 39 年間 1 セントも上昇していません。
- 提案 46 は、医療過誤訴訟における弁護士報酬の現行の上限を保持します。

2. 提案 46 は、処方薬の乱用を嚴重に取り締まることで人の命を救います。

- 最近の LA Times 誌による調査によると、California 南部の 4 つの郡において、過失による過量投薬による死亡のほとんど半分の原因は、医師によって処方された薬剤だとされています。
- 提案 46 は、常習性鎮痛剤やその他の麻薬を任意の患者に初めて処方する前に、全州的なデータベースを確認することを医師に義務付けます。

3. 提案 46 は、正常な能力が損なわれた医師から患者を保護することで人の命を救います。

- California 医療役員会の報告によると、医療専門家のほとんど 5 人に 1 人が生涯のうち薬物を乱用することが専門家によって推定されています。
- 薬物やアルコールの影響下にある医師は医療ミスを起こしますが、医師は検査を受けないためほとんどの薬物乱用は発覚しません。

提案 46 は以下を義務付けます。

- パイロットの検査に通用している同じ実証済みの連邦検査プログラムを使用した、無作為に行う医師の薬物およびアルコール検査。
- 検査が陽性となった医師の免許停止と、医師がそのために勤務中に正常な能力が損なわれていた場合はその懲戒処分。

事実：

- 何百人もの California 住民が職場で薬物検査を受けていますが、California では医師には検査を義務付けていません。
- 薬物検査はパイロット、バス運転手、その他安全性に関わる労働者に義務付けられていますが、医師には義務付けられていません。
- 薬物検査は人の命を救います。無作為に行われる医師の薬物検査が、一流の医療安全専門家や消費者擁護者、医療の監督責任を担当する連邦機関の監査官、そして薬物を乱用したことのある医師自身によって支持されている理由はここにあります。
- 現在は回復していますが、薬物乱用中に開業していた内科医の Stephen Loyd は、「私は毎日正常な能力が損なわれた状態で仕事をしていました。今振り返ってみて、自分がしてしまう可能性があったことを考えると死ぬほど恐ろしく感じます。私の両親も同僚も、私が薬物を使用していたことをまったく知りませんでした」と語っています。

Bob Pack、消費者団体、医療専門家、そして医療過誤被害者と共に提案 46 に賛成票を入れてください (www.yeson46.org)。そうすれば、患者の安全性を高め、医師に責任を持たせ、私たち自身、または私たちにとって大切な人たちが中毒になった医師から治療を受けることがないようにして、人の命を救うことができます。

Bob Pack、予防可能な医療過誤の被害者 Troy および Alana Pack の父親

Carmen Balber、エグゼクティブ・ディレクター
消費者監視者

Henry L. "Hank" Lacayo、州担当会長
California シニア評議会

★ 提案 46 の賛成意見に対する反論 ★

提案 46 は、たった一つの理由から皆さんの投票にかけられています。それは公判弁護士が医師を訴えて、そのような訴訟から利益を得やすくなるからです。簡単なことです。上限を増加すれば、公判弁護士の利益は自動的に増加します。

46 の発案者は、これは医師の薬物検査に関することだと主張しています。しかし、この法案を起草し、その費用を支払った弁護士が州議会に赴いて医師の薬物検査を提案したことは決してありません。

しかし、彼らはこれまでに、州議会に訴訟の上限を増加させ、家庭医を訴えやすくする 3 つの異なった提案を発案してきました。その 3 つすべてを議会は拒否しています。公判弁護士は、少なくとも 10 回は裁判所に上限を取り消すよう要請しています。毎回、California 最高裁判所を含む各裁判所は、上限は費用を抑えることでその目的を果たしており、それによって手頃な値段の医療サービスへのアクセスが保護されているという判決を下しています。

弁護士は、これは「人の命を救う」ものだと大胆に主張しながら、これを投票用紙にかける支払いを受けているのです。この政治的な美辞麗句を弁護するために、彼らは間違った統計を

引用しています。私たちはもちろん投票発案が実際に人の命を救えることを願っています。ですがこの発案は人の命を救いません。

しかし、医師や看護師は人の命を救います。医師や看護師は患者の治療を行うことに厳粛な宣誓を行っています。彼らは提案 46 によって California の医師や専門医、医療専門家が閉業を余儀なくされると信じています。このような提案のメリットは誰にもありません。

www.NoOn46.com をご覧になり、全州の 500 もの異なったコミュニティ団体があらゆる人の医療アクセスに懸念を抱いている理由を知り、46 に反対票を投じてください。

Tricia Hunter、正看護師、エグゼクティブ・ディレクター
California 看護師協会

Tom Scott
California 法律悪用と戦う市民

Betty Jo Toccoli、会長
California 小企業協会

★ 提案 46 の反対意見 ★

California の特別利益団体は、1つのものに関するように見えても、実は別のことに關する投票提案を考え出す実績があります。これはそのもう一つの例です。

提案 46 は、本当の意図を隠すために医師に対するアルコールや薬物の検査を利用しているに過ぎません。その本当の意図とは、医療過誤訴訟で認められる損害補償額の上限を増加することです。

この法案は三つのことを実行します。

- Californiaにおける医療過誤に対する損害賠償額の上限を4倍にします。これによって、納税者には毎年何億ドルもの費用がかかり、多くの医師やその他の医療専門家が開業を辞めたり、医療過誤保険の保険料がより低い場所に移転します。
- 個人の処方薬データベースの使用を大幅に拡大することで、皆さんのプライバシーが脅かされます。
- 医師にアルコールおよび薬物検査を義務付けますが、これは本当の目的から注意をそらすためだけにこの発案に追加されたものです。

提案 46 に反対票を投じてください。

この法案は、医師に薬物検査を受けさせる必要があると誰かが考えたために投票にかけられているものではありません。提案 46 は、その通過によって利益を得る公判弁護士によって単独に発案され、その費用が支払われています。彼らの思い通りになれば、医療過誤訴訟数と公判弁護士の報酬額は急増します。その費用を支払うのは私たちです。

医療過誤訴訟で認められる損害賠償額の上限の引き上げ

弁護士は、州が医療過誤訴訟に許可する損害賠償額の上限を4倍にしたいと願っています。その結果以下が起こります。

- 医療保険費用の増加：医療過誤訴訟で認められる損害賠償額が増加すると、医療保険会社は増加した費用を賄うためにその保険料率を引き上げます。医療保険会社が保険料率を引き上げると、私たちは皆より多くの保険料を支払うことになります。
- 税金と料金の増加：州及び郡の病院は、各自で医療過誤保険料を支払っています。医療保険会社が保険料率を増加し

た場合、州政府と郡政府はその新しい費用を賄うための方法を見つけなければなりません。サービスを削減するか、税金や料金を増加することになります。事実、独立立法分析者は、州および郡の費用の増加は「数億ドル」になると推定しています。いずれの場合も、それを支払うのは私たちになります。

- 医療へのアクセスの低下：Californiaが上限を引き上げると、多くの医師やその他の医療専門家は、医療過誤保険の保険料率がより低い州に移転します。中には開業を諦める人も出ます。これは、皆さんの医師がいなくなる原因となります。これが、California Association of Rural Health Clinics が提案46に反対している理由です。

処方薬データベース

提案 46 は、医師が California の個人処方薬暦のオンラインデータベースを確認することを義務付けています。政府がすでに私たちのプライバシーを簡単に侵害できるこの時代に、このデータベースは州政府によって管理されるのです。

DMV やベンタゴンを含む政府ウェブサイトは、これまでハッカーに攻撃された歴史があります。誰も安全性を保障できないようなまた別のコンピューターデータベースに依存することに、反対票を投じてください。

要約

提案 46 の悪影響は利益を上回ります。それは、医療費の増加、増税、医師へのアクセスの損失、プライバシーの損失、私たち個人の処方薬暦が漏れて、他の誰かの目に触れるリスクです。

反対票を投じてください。

Donna Emanuele、正看護師、会長

California 診療看護師協会

Ann-Louise Kuhns、会長

California 小児病院協会

Stuart Cohen 医学博士、会長

California 小児科学会

★ 提案 46 の反対意見に対する反論 ★

医療過失のために子供を亡くした母親として、私たちは私たちが体験した悲劇が他の人に起こらないようにしたいと願っていますが、保険会社は提案 46 による改革に反対して何百万ドルもの資金を投じています。

事実を考慮してください。

医師に無作為に行う薬物およびアルコール検査を義務付けることで、USA Today 誌が「年間 103,000 人もの米医療専門家が違法薬物を乱用している」と報告した深刻な問題に対処できます。

これが、飲酒運転に対抗する母親達 (MADD) の創設者 Candace Lightner が提案 46 を支持している理由です。

米保健社会福祉省の監察官は、医師の検査を要請しています。

パイロット、病院の従業員、そして何百人もの California 州民が検査を受けていますが、California では医師には検査は義務付けられていません。

新しい患者に麻薬を処方する前に、California の薬剤データベースを確認することを医師に義務付けることは：

プライバシーを保護します。既存の法務省のデータベースは安全に保護されています。これが、消費者監視委員会が提案 46 を支持する理由です。

資金を節約します。米保健社会福祉省の元保険監視担当ディレクターは、California は毎年何億ドルも節約できると推定しています。

苦痛に対する医療過誤訴訟の損害賠償額の上限である 250,000 ドルを 39 年間のインフレに合わせて調整することは、人の命を公平に評価し、医師に責任を課します。

上限は女性と子供に不釣り合いな害を与えることから、Barbara Boxer、Nancy Pelosi、そして Erin Brockovich は提案 46 を支持しています。

提案 46 は医療サービスへのアクセスを制限しません。統計によると、上限学を設定していないほとんどの州の州民は、California より良い医師の利用状況が見られます。

California の保険長官は、保険料率を規制することで医師の保険費用を抑えます。

年間最大で 440,000 人の人が予防可能な医療ミスにより死亡しています。人命救助を支援してください—賛成票を投じてください。

Sarah Hitchcock-Glover、正看護婦 予防可能な医療過誤の被害者

Adam Glover の母親

Alejandra Gonzalez、予防可能な医療過誤の被害者 Mia Chavez の母親

Jennifer Westhoff、予防可能な医療過誤の被害者 Morgan Westhoff の母親